

第 50 回技能五輪全国大会について

(別紙 1)

1 大会概要

技能五輪全国大会は、青年技能者に努力目標を与え日頃の鍛錬の成果を競い合うことで、若年層の技能の向上を図るとともに、広く国民に技能の重要性・必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的に、昭和 38 年から毎年開催されています。

平成 24 年度に開催する第 50 回技能五輪全国大会は、長野県松本市及び諏訪市内の 13 会場において、40 職種で 23 歳以下（一部職種を除く）の青年技能者が技能レベル日本一を競います。

また、今大会は、2 年に 1 度開催される「技能五輪国際大会」の選考会も兼ねており、成績優秀者は来年 7 月にドイツ・ライプツィヒで開催される第 42 回大会の日本代表選手に選ばれます。

2 主催

厚生労働省、長野県、松本市、諏訪市、中央職業能力開発協会

3 後援

文部科学省、経済産業省、国土交通省、各都道府県（長野県を除く）、各都道府県職業能力開発協会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、社団法人全国技能士会連合会、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本産業訓練協会、日本放送協会

4 日程・開催地概要

10 月 26 日(金)	開会式	キッセイ文化ホール 大ホール（長野県松本市水汲 69-2）
10 月 27 日(土)	競技実施	やまびこドーム、諏訪湖イベントひろば・ホール ほか 11 会場 ※会場詳細は別紙 2 参照
10 月 28 日(日)	競技実施	
10 月 29 日(月)	成績発表、閉会式	キッセイ文化ホール 大ホール（長野県松本市水汲 69-2）

※一部の職種は競技を先行して実施します。

5 参加資格

原則として満 23 歳以下の者で、都道府県ごとに実施される技能五輪予選大会で優秀な成績を収めた者、または優秀な技能を有すると認められる者として都道府県職業能力開発協会等から推薦された者

6 参加選手数

1,097 名

7 競技職種

40 職種

機械系	機械組立て、抜き型、精密機器組立て、機械製図、旋盤、フライス盤、木型、自動車工
金属系	構造物鉄工、電気溶接、自動車板金、曲げ板金、車体塗装
建設・建築系	配管、石工、左官、家具、建具、建築大工、造園、冷凍空調技術、とび
電子技術系	メカトロニクス、電子機器組立て、電気、工場電気設備
情報通信系	IT ネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン
サービス・ファッション系	貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、西洋料理、和裁、日本料理、レストランサービス、時計修理（デモンストレーション職種）

8 表彰

【選手表彰】

成績優秀者には、金賞、銀賞、銅賞及び敢闘賞の賞状並びにメダルが授与され、各職種の金賞受賞者には、厚生労働大臣賞として盾が授与されます。

【選手団表彰】

最も成績が優秀である都道府県選手団（1 団体）には、厚生労働大臣賞として賞状並びに盾が授与され、成績が優秀である都道府県選手団（3 団体）には、厚生労働省職業能力開発局長賞として賞状並びに盾が授与されます。